

## 非文字資料の研究とその成果の利用の過程における検索とマイニング、セキュリティ、著作権管理に関する研究

木下 宏揚（非文字資料研究センター 研究員／研究班代表）

非文字資料の研究とその成果の利用の過程における情報の体系化と検索、新しい知見の発見およびセキュリティの確保と著作権の管理に機械学習やブロックチェーン技術などを適用し、研究者と利用者を支援するための基盤技術を構築する。

(1) 画像などのコンテンツを識別するための固有の情報の知覚ハッシュに基づく著作権管理システム

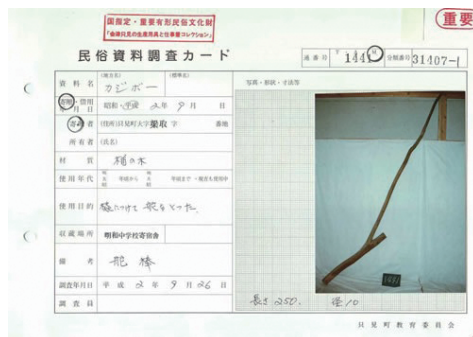
(2) 画像への電子透かしやステガノグラフィにおいて画質と耐性を両立した手法の構築

(3) 情報を体系化し関連付けを行うためにオントロジーとトピックモデルなどを組み合わせた検索手法や論文推薦システムや新しい知見の発見支援手法の構築と『非文字

資料研究』などの研究成果の動向の視覚化

(4) アクセス権の矛盾や情報間の推論に起因する情報漏洩を防止するためにトピックモデルを用いて非文字資料の文書間の関連性を抽出しアクセス制御に適用

(5) テキストに内在する潜在性を確率論的アプローチと決定論的アプローチの関連から捉える概念装置の研究



検索対象の只見町民俗資料調査カード



只見町に収蔵されている民具